

# 会 報

平成23年5月16日

# てんりゅう

**負けるな東日本！  
がんばろう日本！**



## 「3月完成した天竜区役所・消防署」

新庁舎は山と共生する庁舎として、地元天竜杉の特性を生かした木造主体の建造物で、太陽光などの自然エネルギーや木質バイオマス（ペレット）を積極的に活用した（エコ庁舎）です。

会報てんりゅう 第100号

(社)天竜建設業協会 浜松市天竜区二俣町鹿島491-5 ☎(053)926-1562  
編集・発行 広報委員会 題字 長谷川智彦 FAX (053)925-6468  
電子メールアドレス tenryu@aqua.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>



## 天竜区役所・天竜消防署の新庁舎が完成

平成21年度から建設工事を進めてきた天竜区役所及び天竜消防署の庁舎が完成し、3月14日（月）から業務を開始しました。

新庁舎の概要	
敷地面積	12,145.72㎡
建築面積	2,521.92㎡
延床面積	4,000.23㎡
規模・構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合同庁舎棟（2,518.49㎡） 木造一部鉄筋コンクリート造（免震構造）</li> <li>・ 車庫生活棟（1,171.79㎡）</li> <li>・ 雑庫棟（167.40㎡） 鉄骨造</li> </ul>
建設費	10億9882万5千円

### ◎庁舎の概要

新庁舎は、区役所と消防署の事務スペースからなる「合同庁舎棟」と、消防署の「車庫生活棟」「雑庫棟」で構成される2階建て構造となっており、外観・内観の色彩は、区民の皆さんの投票により決定しました。



## 「会報 てんりゅう」第100号の発刊にあたって



(社)天竜建設業協会 会長

長谷川 智彦

「会報 てんりゅう」が昭和59年（1984年）8月15日に第1号を創刊してから27年の歳月をかけ、今回、第100号の発行となりました。この間、歴代の広報委員会の委員の皆様のご尽力、取材に協力いただいた方々、そして、ご愛読くださっている皆様に深く感謝申し上げます。

これを機会に1号から読み返しましたら、モノクロの表紙は今ではカラーになっていますが、「コーヒーブレイク」や「かんとくさん」など今でも連載中のものがあり、当時は「ぼくのお父さん」が「マイ ファミリー」と題名が変わりながらも続いている、しかも、その子供たちが今では、お父さんと一緒に現場の第一線で活躍している人がいることに、面白さを感じながらも100号という時間の積み重ねも同時に感じました。

これからも「会報 てんりゅう」の発行は当協会の最も大きな事業のひとつであり、たくさんの方の地域の皆様に、建設業のことや協会の活動はもとより、身近な地域の話題も取り入れた紙面づくりに取り組み、「建設業と地域とのかかわり」を柱に楽しく読んでいただける広報誌を目指しますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

## ◎天竜区内産の

## 木材使用

「合同庁舎棟」は、木造主体の建築物として地元産の木材（すべて一本材）を142㎡使用しています。

庁舎内は、2階部分の天井の小屋組をすべて露出させるなど柱や梁をできる限り見せたり、廊下をフローリングにしたりすることで、木造を強調した内装になっています。



## ◎地球にやさしい

## 「エコ庁舎」

新庁舎の空調は、エアコンのほか、木質ペレットを燃料とする冷温水器も熱源として利用し、間伐材の利用促進や、二酸化炭素の削減への効果が期待されます。

冬場は、OMソーラーにより暖められた空気を床下から送り込み、室内の暖房に活用し、また、埋設されたアースチューブから送られる地下免震ピット内の、安定した温度の空気を事務室内の換気利用できると、地球環境に配慮した施設となっています。







## 『ヤジロベエ工法』

N・M

間もなく第2東名自動車道、三遠南信自動車道の部分供用が始まる。道路沿いに見える高い橋脚、それからヤジロベエのように伸びる橋。ディビダーク工法といって、橋梁の特殊工法のつだ。

橋の構造には様々あつて外観、強度、コスト等様々な検討の上にその設計（工法）が決まる。小川を渡るには鉄板を渡すだけで橋になるし、本四連絡橋のような長大橋では吊橋になる。昔実際施工している技術屋さんから聞いた話だが、ディビダーク工法ではヤジロベエのように張り出した構造のため、施工中にその腕の先端に人が立つだけで、大きくたわむらしい。あんなに大きなコンクリートの塊なのに。だからヤジロベエの腕の部分が伸びるに従って下がってしまうため、そのたわみも

コンピュータで細かく計算し、両側から伸びた橋がつかないときに水平になるように施工するらしい。すごい。

だけど、実際の施工中はその先端がゆれるため、その施工精度を保つのが大変難しいらしく、結局最後に頼るのはその技術屋の経験だと言っていた。

先の大地震の後でもあり、「施工中にあんな地震が来ても大丈夫なのだろうか」といらぬ心配をし、車の窓から工事現場を見るのも楽しい。



## かんとくさん



水窪地域自治センター  
地域生活課  
丸山 義仁

この度水窪地域自治センター地域生活課に配属になりました。

担当業務は道路の維持管理です。北遠の道路は生活に直結した大事な道路ですので、安心して通行が出来るように先輩・上司からのアドバイスを受けながら、建設業者のみなさんが、安全に施工が出来るような監督員になれるよう、頑張りたいです。

3年ぶりに水窪で勤務する

事になり、今までとは環境も業種も変わり不安もありますが、この顔を忘れた方もこの広報誌を見て思い出していただけたらと思います。監督員としてはまだまだ未熟ですが、早く一人前の監督員になれるように努力し、建設業者のみなさんと協力して道路の維持管理を行っていききたいと思います。

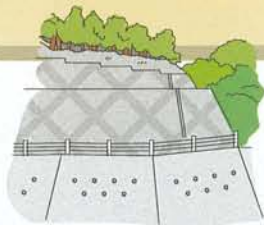




## 建設ギャラリー

工事名称 平成22年度 県単治山（県営）若身工事  
 工事場所 浜松市 天竜区 春野町 堀之内  
 施工業者 株式会社 森下工業

この工事は、既設の谷止工にデコメッシュ（残存化粧型枠）を使用した谷止工で、デコメッシュは特殊金網を使用している為、1枚（1000mm×1000mm）当り8.5kgと超軽量であり、運搬に手間取らず、組立も簡単に素早く構築できます。また、コンクリート打設時には余剰水や気泡がすばやく排出でき、均一な品質が確保できます。オススメです。



私が天竜建設業協会で働きはじめて半年が経ちました。  
 防災天竜分会の事務局担当となり、戸惑うことが多い毎日ですが、職場の方々に迷惑をかけないように心がけ、仕事の内容を理解し、会員の皆様方のお役に立てられるよう努力していきます、一日も早く信頼される職員になりたいと思っています。  
 さて、防災の主要事業であ

鈴木純子

（社）天竜建設業協会



**私の安全  
パトロール  
日誌**



る安全パトロールですが、平成二十二年度は全八回、四十五か所の工事現場を実施いたしました。その状況は、左記のとおりです。

◎自主パトロール

分会安全指導者による安全パトロール

- ・五月 佐久間・水窪地区
- ・六月 天竜・龍山地区
- ・八月 佐久間・水窪地区
- ・九月 天竜・龍山地区
- ・十二月 春野地区

◎合同パトロール

関係官公署及び分会安全指導者による安全パトロール

- ・十月・十二月・二月にそれぞれ天竜・龍山地区、春野地区、佐久間・水窪地区に分かれて実施した。

パトロール現場では、施工体系図や有資格者一覧表、現場の管理体制、墜落・落下防止策などをチェックし、気づいた点を現場責任者にその都度指摘し、改善を求めています。



## My Family

## 『無邪気な姉妹』



天龍土建工業（株） 野田洋平

写真の二人が私の娘です。向かって左で澄ましているのが長女の実来（二歳）、その右側で眩しうに眼を細めているのが次女の彩水（六か月）です。それではこれから、無邪気な姉妹の日常について紹介します。

長女は話をするのが大好きで、お母さんが喋った言葉やテレビで覚えた言葉を真似して話をします。まだ意味も分からずトンチンカンな話をする時もあるけれど、何処で覚えたの？と驚かされる時もあり、日々増えるいく言葉と貪欲な知的吸収

力には目を見張るものがあります。ただ、私が仕事から疲れて帰り扉を開けると「お帰り！」と満面の笑みで走って迎えに来てくれるその一言が私の元気の源となつては確かです。

次女は、首が据わりもう少して寝返りが出来るそう毎日手足をバタつかせて奮闘しています。話かけるとまん丸い顔でニコニコするので凄く癒された気分になります。

まだまだ手の掛かる二人ですが、お父さんを支えてくれているのは、本当はこの一人なのかも知れません。



政五郎は東京の神田からなぜかこの地に流れ来て土木仕事を請け負っていたそうで、現神田組発祥の礎となった人物です。先祖から受け継いだ大事なお宝です。

私が遠州中央農協に入組して八年が経ちます。これまで優しい先輩や上司、気の合う同僚に恵まれ、また、お客様からも親切

遠州中央農協 春野支店  
岩崎 鮎子さん



にして頂き日々楽しく過ごしています。まだまだ迷惑を掛けてしまふこともあり、学ばべき事が多いので、二つの仕事を丁寧な身に付け、こなせるようにしていきたいと思っています。そして同僚ともコミニケーションをとり、お客様がいつでも気持ちよく来店できるように、明るい職場づくりに努めたいです。

私生活ではマラソンや駅伝観戦が好きなので、テレビで観たり、友人と現地に赴いて観ています。現地に行く際は、各地の名所や



特産品を見て回るのも楽しみの一つです。

これからも一生懸命頑張っている色々な人から刺激を受け、仕事も私生活も充実した日々を過ごしていきたいです。

## お宝発見

シリーズ第13回 神田政五郎碑

～(株)神田組 清水 充～

我が家の一角に昔から神田政五郎の石碑があります。明治40年12月5日に没した政五郎の功績を讃え翌年12月に建立されたものです。裏面には神田濱次郎（本名/清水濱次郎）を筆頭に23人の子分衆の名前が刻まれております。